

研究課題別中間評価結果

1. 研究課題名： 安全で持続可能な水利用のための放射性物質移流拡散シミュレータの開発

2. 研究代表者： 沖 大幹（東京大学 生産技術研究所 教授）

3. 中間評価結果

（1）研究課題の進捗状況と成果の見込みについて

総合評価コメント

本研究は、放射性物質が水道取水源に到達する濃度やタイミングを推計するシミュレータの構築を目指すものである。チャレンジングな課題に対して流域シミュレータの開発、メソスケールトレーサーモデルの開発、環境モニタリング調査の組み合わせによって、よく連携された包括的な研究が実施され、全体として概ね計画通りに進捗している。

大気中の放射性物質の移流拡散モデルの開発と検証、福島第一原子力発電所事故後の当該地域における核種の分布を提示するなど優れた基礎研究や実証は高い水準の成果と認められる。また、本研究によって得られる知見は、原発事故の事後処理だけでなく、今後の放射性物質による汚染事故に備えた対策のあり方を考える上でも有用であり、社会に対して十分に貢献するものと期待される。

大学の研究者、海外の研究者、行政担当者との広範囲なネットワークが形成されていて、今後の展開が期待される。また、多数の国内外の論文発表、招待講演や授賞など、研究成果が高く評価されている。

今後、流域の放射性物質シミュレータの精度をさらに上げることが期待される。また、仮に原発事故が起きた際の、浄水場における取水停止など、行政が広く利用できる汎用性のある統合システムの開発と社会実装が望まれる。

以 上